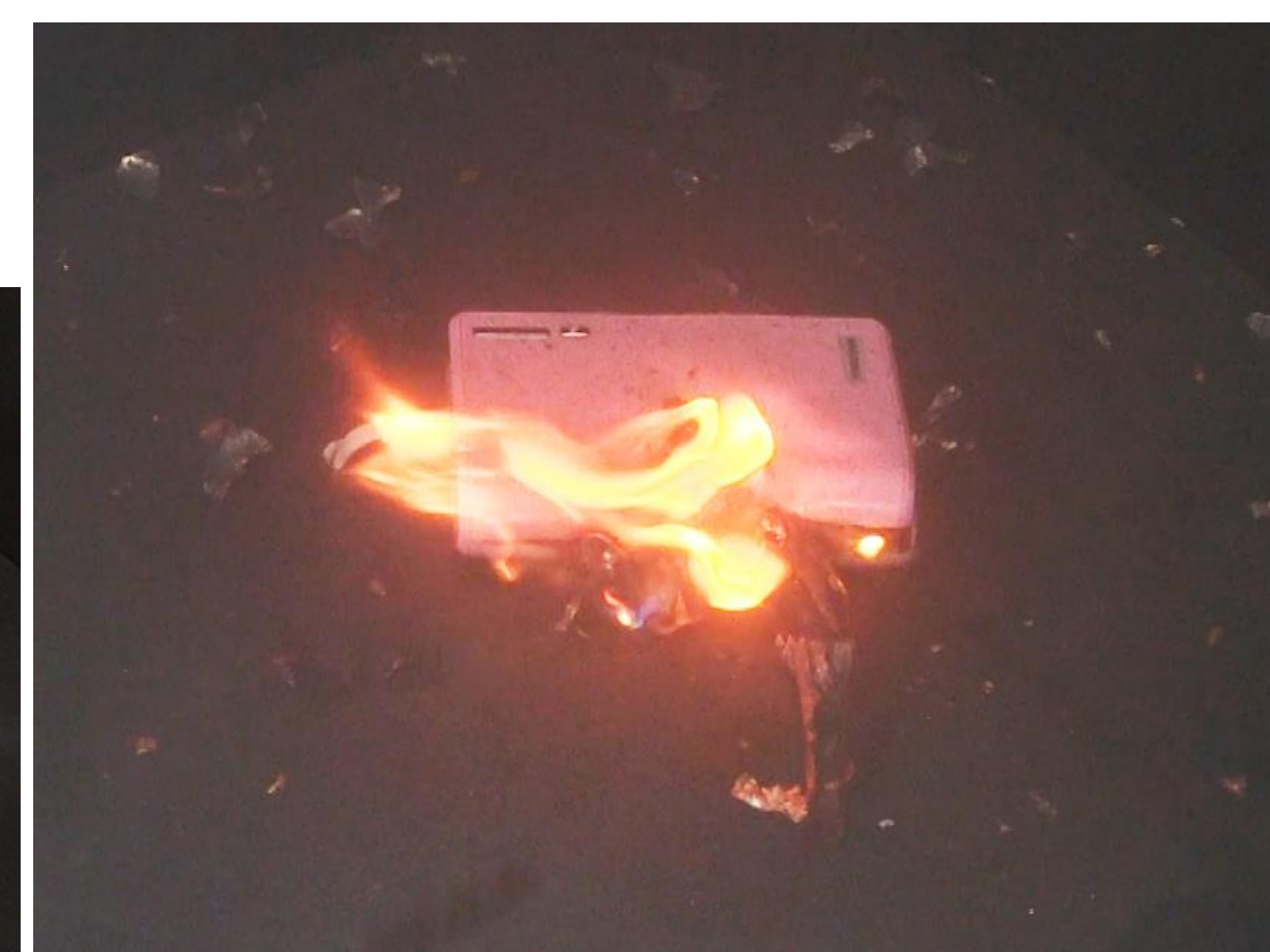


リチウムイオンバッテリー搭載製品の事故

事故の概要

【事例①】かばんに入れていたモバイルバッテリーが発火し、製品と周辺を焼損する火災が発生した。

【事例②】転倒した際、ポケットに入れていたスマホが発熱・発火し、火傷を負った。



【NITEの再現実験】充電していたモバイルバッテリーから発火

事故の原因

【事例①】モバイルバッテリーに搭載されていたセルに金属片の混入や電極板の不良等の不具合品が混入していたため、内部ショートが生じて異常発熱し、焼損したものです。当該製品は事故発生日の一カ月前にリコールを開始していました。

【事例②】スマホをポケットに入れた状態で転倒したため、衝撃により、内部ショートが生じて異常発熱し、焼損したものです。



事故防止のために

◆リコール情報を確認する。

◆以下のような状況に該当する場合は、使用を中止して、購入店又は製造・輸入事業者の修理窓口に相談する

□充電できない。

□充電中に以前よりも熱くなる。

□外装が膨張し、変形している。バッテリーパックが膨張している。

□落とす、ぶつけるなどで強い衝撃を与え、一部が変形している。

□不意に電源が切れる。

